



長野県鉱工業指数 平成30年9月分(速報)をお知らせします

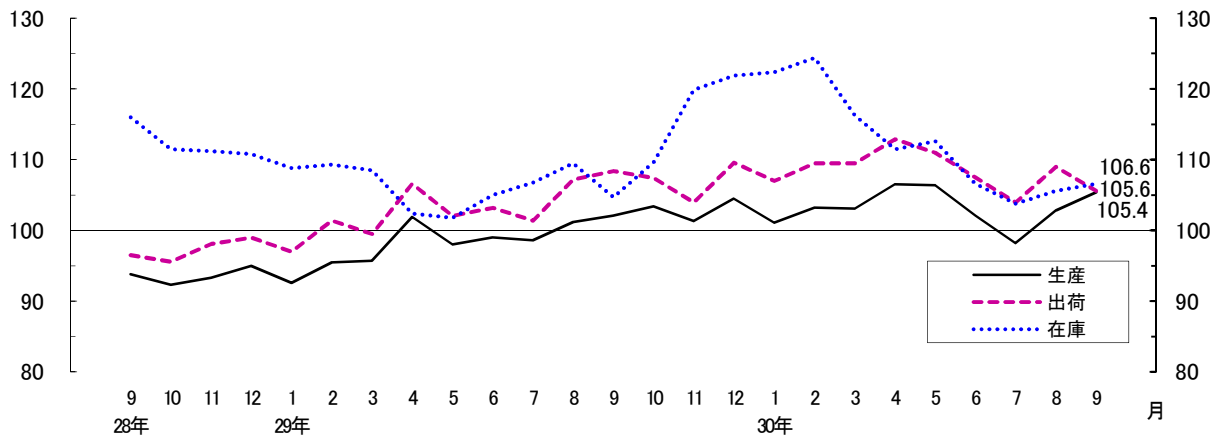
●概況

平成30年9月の長野県鉱工業指数は、前月比(季節調整済指数)で、生産は2.5%増と2か月連続の上昇、出荷は3.1%減と2か月ぶりの低下、在庫は0.9%増と2か月連続の上昇となりました。
 前年同月比(原指数)では、生産は0.3%増と26か月連続の上昇、出荷は3.8%減と26か月ぶりの低下、在庫は1.8%増と3か月ぶりの上昇となりました。

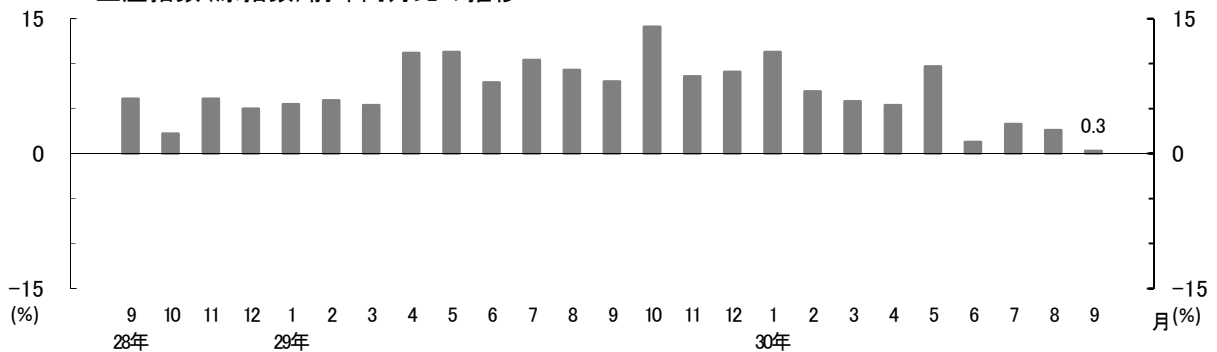
項目	季節調整済指数	前月比(%)	平成22年=100	
			原指数	前年同月比(%)
生産	105.4 (102.8)	2.5 (4.7)	103.4 (98.6)	0.3 (2.6)
出荷	105.6 (109.0)	△ 3.1 (4.8)	106.6 (103.7)	△ 3.8 (1.9)
在庫	106.6 (105.6)	0.9 (1.7)	105.2 (108.0)	1.8 (△ 3.6)

※()内の数値は、平成30年8月分確報値

季節調整済指数の推移



生産指数(原指数)前年同月比の推移



※1) 季節調整済指数とは、原指数を季節調整(毎年季節的に繰り返される変動を取り除くこと)した指数のことで、原指数 ÷ 季節指数により算出します。
 ※2) 原指数とは、生産等の基準数量(基準となる年の月平均の数量)に対する当月の数量の割合のことで、当月の数量 ÷ 基準数量により算出します。

確かな暮らしが営まれる美しい信州

～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)推進中

企画振興部 情報政策課統計室 統計第一係
 (室長)堀内 明美 (担当)永田 浩靖
 電話：026-235-7070(直通)
 026-232-0111(代表)内線5117
 F A X：026-235-0517
 E-mail tokei@pref.nagano.lg.jp

1 生産・出荷・在庫の業種別動向

		主な業種	季節調整指数	前月比 (%)	主な品目
17業種	上昇 8業種	化学工業	133.7	44.7	医薬品
		はん用・生産用・業務用機械工業	146.2	5.0	(生)金型
		電気機械工業	213.8	8.1	
	低下 9業種	電子部品・デバイス工業	67.9	△ 5.4	電子部品
		金属製品工業	101.8	△ 4.7	その他の金属製品
		情報通信機械工業	42.3	△ 5.4	

17業種	上昇 6業種	電気機械工業	229.4	5.4	回転電気機械
		食料品工業	113.8	2.5	飲料
		輸送機械工業	80.8	3.6	自動車部品
	低下 11業種	電子部品・デバイス工業	58.5	△ 9.7	電子部品
		情報通信機械工業	69.2	△ 10.1	
		はん用・生産用・業務用機械工業	148.7	△ 0.9	

16業種	上昇 7業種	情報通信機械工業	199.9	10.7	
		その他工業	233.0	5.2	家具工業
		化学工業	135.6	12.2	医薬品
	低下 9業種	電気機械工業	96.6	△ 5.8	
		金属製品工業	99.9	△ 9.4	その他の金属製品
		電子部品・デバイス工業	41.2	△ 4.4	

※「主な業種」については、寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載してあります。

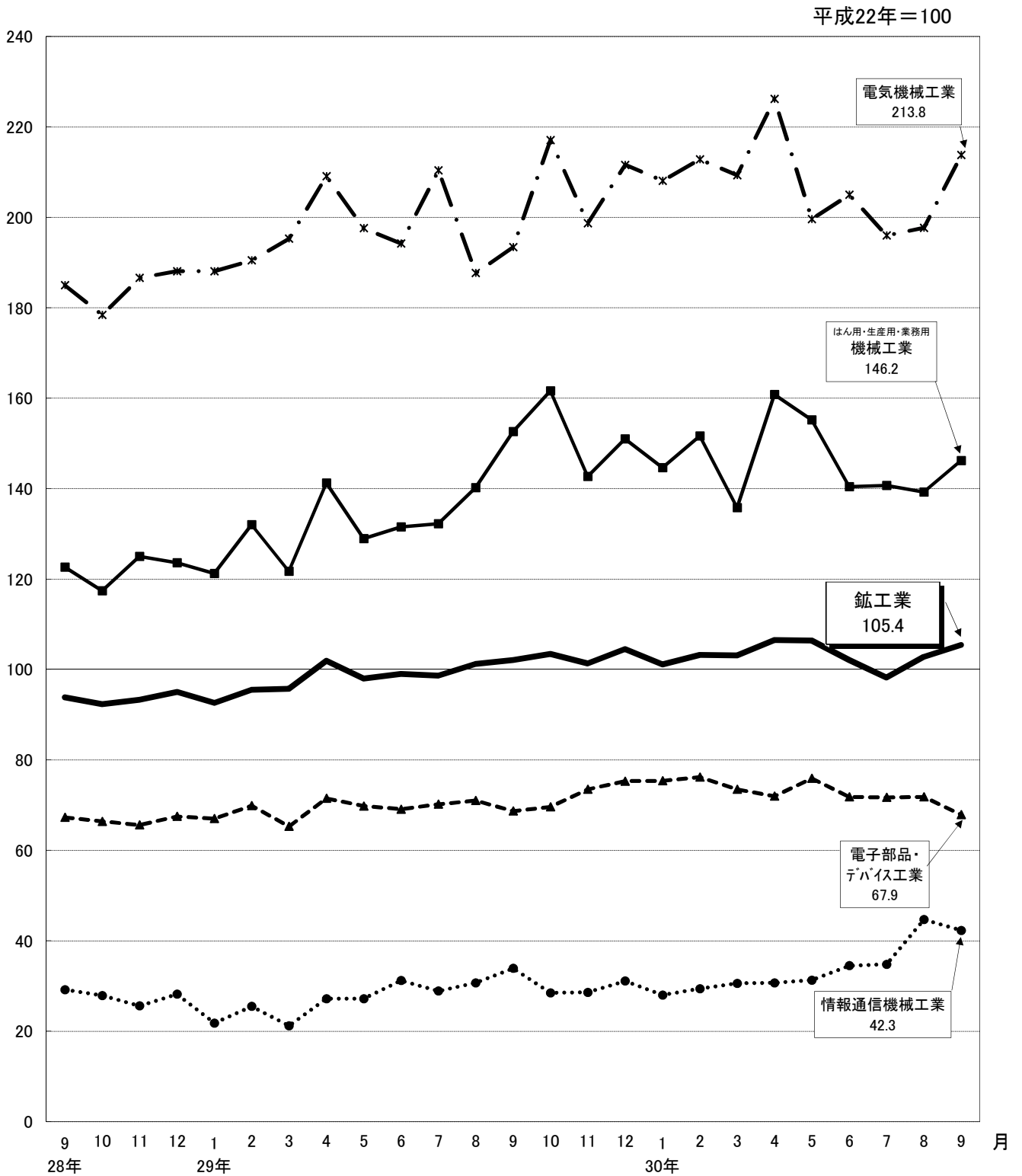
※「主な品目」については、対象事業所が少数の場合は掲載していません。

※前月比が横ばいの業種は業種数に含みません。

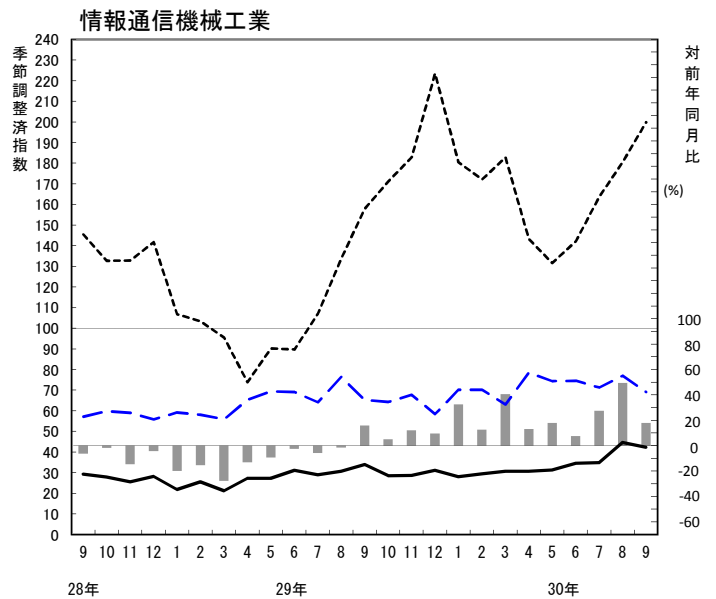
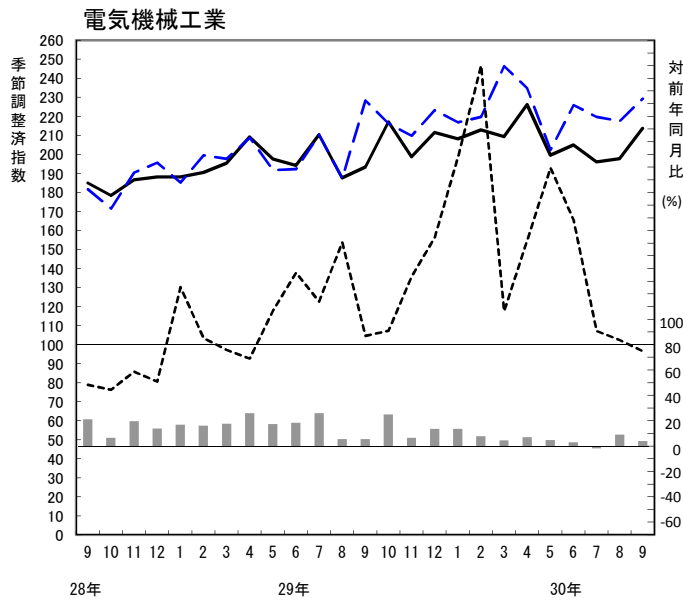
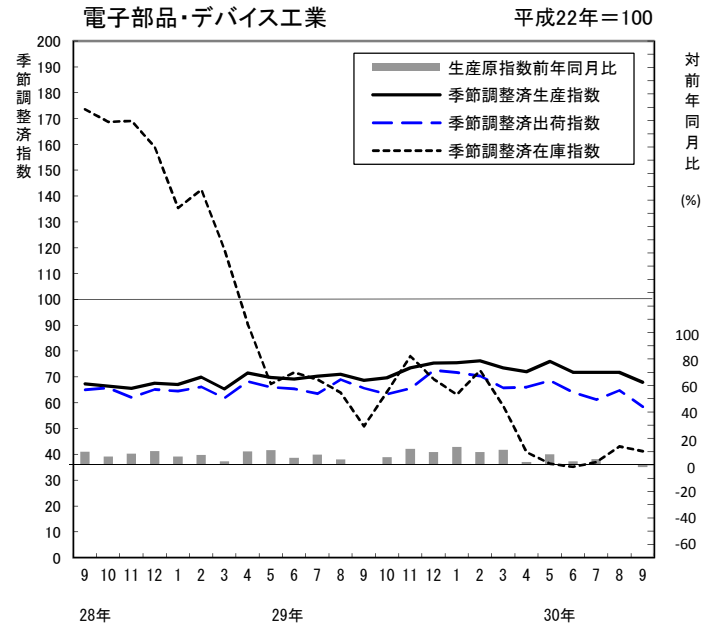
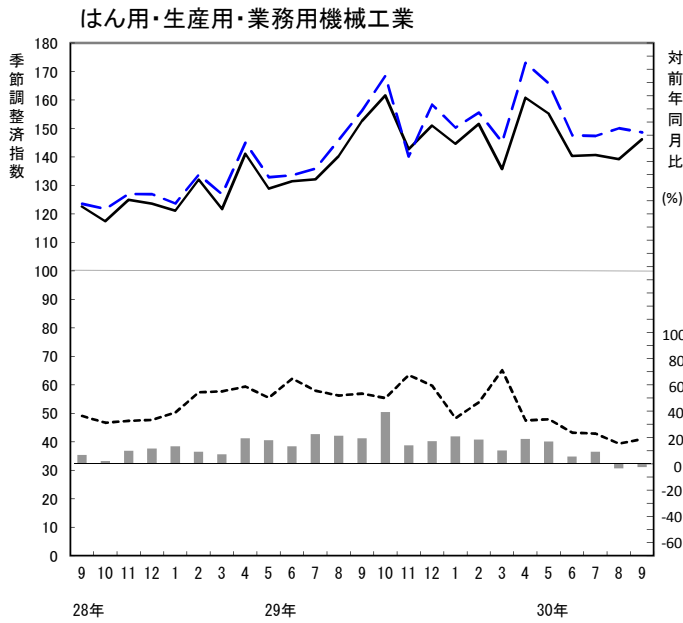
※「はん用・生産用・業務用機械工業」に係る、「主な品目」の()内は次の区分によります。

(は):はん用機械 (生):生産用機械 (業):業務用機械

2 主な業種の生産指数(季節調整済指数)の推移



3 主な業種の生産指数等の推移



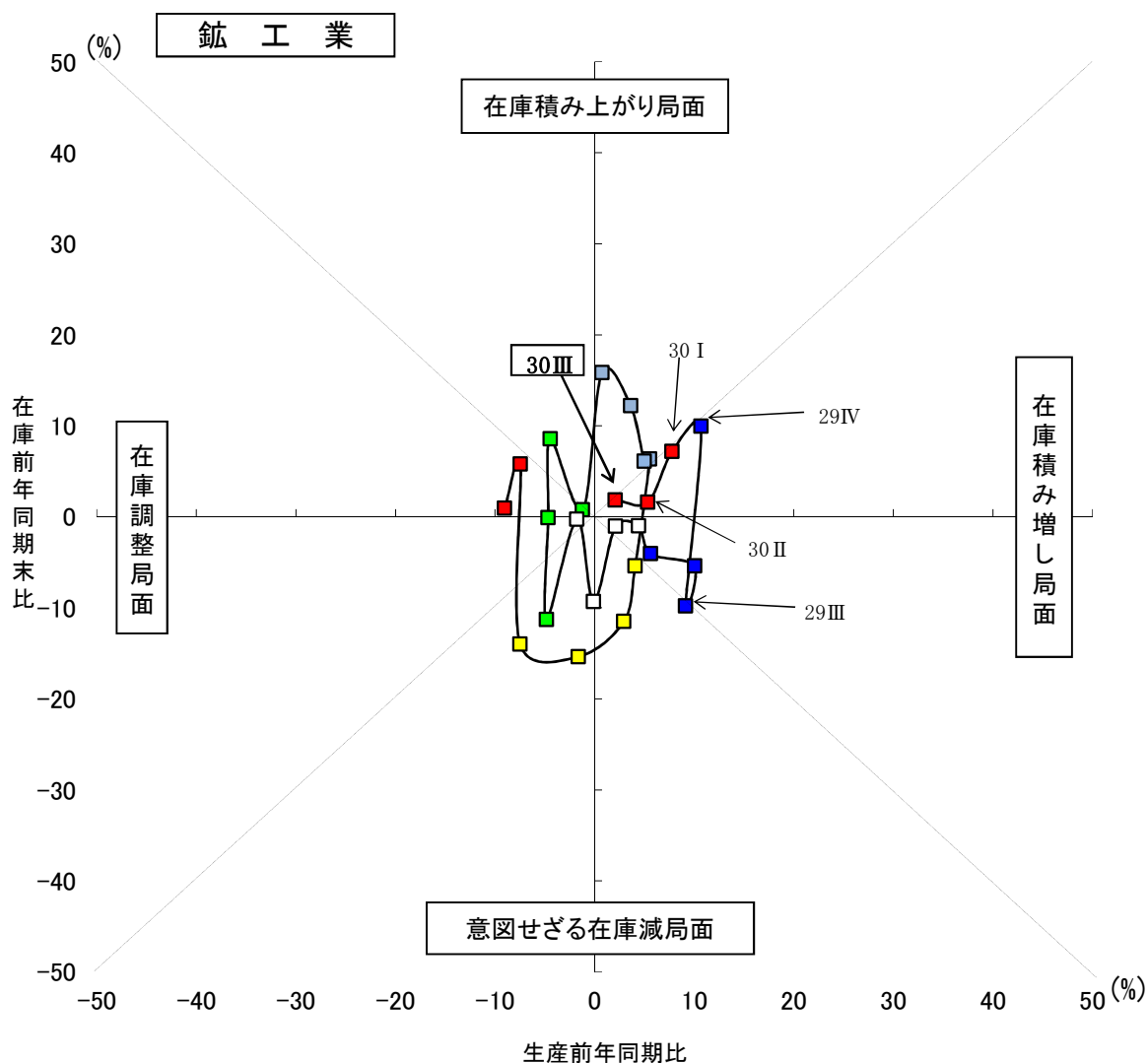
4 財別の動き(季節調整済指数)

平成22年=100

項目	最終需要財		投資財		消費財		生産財	
	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)	指数	前月比(%)
生産	111.0 (103.6)	7.1 (6.9)	118.5 (112.6)	5.2 (2.4)	104.2 (95.2)	9.5 (17.2)	99.9 (101.4)	△ 1.5 (0.9)
出荷	113.0 (116.3)	△ 2.8 (3.6)	124.6 (126.6)	△ 1.6 (3.2)	101.7 (105.6)	△ 3.7 (5.3)	98.5 (100.6)	△ 2.1 (2.1)
在庫	139.7 (130.4)	7.1 (△ 0.7)	85.4 (88.5)	△ 3.5 (△ 11.8)	162.7 (150.7)	8.0 (4.5)	62.6 (66.8)	△ 6.3 (5.4)

※()内の数値は、平成30年8月分確報値

5 在庫循環の推移(H24年Ⅲ期～H30年Ⅲ期)



***局面の見方** (生産と在庫について以下のような循環が見られることが多い)

- ・意図せざる在庫減局面(第一局面)・・・需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- ・在庫積み増し局面(第二局面)・・・将来の需要増に備え増産し、在庫を積極的に積み増そうとする。
- ・在庫積み上がり局面(第三局面)・・・需要が予測を下回り、在庫が積み上がってしまう。
- ・在庫調整局面(第四局面)・・・減産を進め、積み上がった在庫を減らそうとする。

